

夏に多いこどもの皮膚トラブル ～とびひ(伝染性膿痂疹)について～

1. とびひ(伝染性膿痂疹)の原因は？

虫さされや、擦り傷などの皮膚の浅くて小さい傷に細菌が感染しておこります。

2. とびひ(伝染性膿痂疹)の特徴は？

黄色ブドウ球菌が多く、皮膚の浅い傷に水疱(水ぶくれ)ができます。

水疱(水ぶくれ)は膿(うみ)となり、破れてびらん(ただれた皮膚)となり、痂皮(かさぶた)ができます。

3. どうして他の皮膚に広がるのですか？

汗をかきやすく、細菌も増殖しやすい夏に多く、かゆみがあり、掻くうちに他の部分にもひろがります。

4. とびひ(伝染性膿痂疹)の予防・対処法は？

1. 皮膚を清潔に保ちましょう。
2. 湿疹や虫刺されなどは早めに治療しましょう。
3. 患部をかいたりせず、爪は短く切っておきましょう。
4. タオルや衣類は共用はやめましょう。

5. とびひ(伝染性膿痂疹)の治療は？

軽い場合は、抗生剤の軟膏をぬり、皮膚を清潔に保つことでなおります。

とびひが広がっている場合は、抗生剤の軟膏にくわえ、抗生剤を内服します。

6. 通園・通学は？

休園や休学の必要はありません。

とびひが、完治するまではプールは入れません。